

秦野市立鶴巻小学校

学校だより



令和4年7月19日発行

1学期を終えて

今学期も昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症への対策を図りながら教育活動を進めて参りました。保護者の皆様にはご理解・ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。授業参観の実施等少しずつではありますが以前の学校生活に戻りつつあると信じていますが、現在の新型コロナウイルス感染症の再拡大は非常に心配しています。

今年は、とても早い梅雨明けに驚きましたが、それに伴い6月の最終週は連日、熱中症の危険を感じる天候になりました。気温が高く、熱中症指数が高い時は、本校では、屋外での活動(休み時間含む)や体育の授業を中止しました。(体育館でも条件の悪い場合は、活動を中止しました。)命を守ることが最優先なので、仕方ありません。しかし、そのような制限のある中で、子どもたちの健康を守りながら、やる気を育て、教育活動も充実させるためには……という難しい課題に対し、各担任が、授業内容や休み時間の過ごし方を工夫していました。子どもたちも、担任とともに頑張っていました。

さて、子どもたちの学校生活を見ているとコロナ禍の弊害ではないかと思うことがあります。それは、けがをしたり体調を崩したりする児童が増えているような気がします。特に、運動時にけがをしたり体調を崩したりするケースが目立つような気がします。適度な運動が大切になってきますので、ご家庭でもこの夏、体を動かす機会をつくっていただけたらと思いますが、熱中症や海や川での水の事故にも十分注意していただきたいと思います。

まもなく夏休み、体力づくりや豊かな心に繋がる経験ができればと願っています。しかし、なんといても健康で安全な毎日をお過ごしください。来学期、元気な子どもたちが学校に戻ってくるのを楽しみに待っています。

夏休みにチャンスあり 読書で頭と心に栄養を

読書は、集中しないと文字が頭に入ってこないのも、自然と「集中力」が身につきます。集中力が身につくと「よし、頑張ろう」と思う時間が長くなります。また、ものを「覚える力」も身につきます。言葉や文章もたくさん覚えるようになり「書く力」も身につきます。頭にとって良いことづくめです。

次に「心」の栄養についてですが、私たち人間は、友だちや兄弟とケンカしたり、失敗ばかりしてしまったり、家の人に叱られたりして、イライラすることがあります。イライラしている時、人はたくさんの方

ストレスを抱えている状態になります。ストレスを発散してスッキリした気持ちで、いつもの笑顔に戻るためには、運動したり、お友だちとおしゃべりをしたり、好きなことに夢中に取り組んだりしたりすることが必要です。聞いたところによると、実は読書にもその力があり、自然と「心」が落ち着き穏やかな気持ちになるそうです。

みなさん、いつも朝読書等でごがんばっていると思いますが、この夏休み、短い時間でもいいので読書を試してみませんか。そうすると、不思議なことにイライラする気持ちが少なくなり、穏やかな気持ちで次の事にも前向きに取り組もうとする気持ちになるはずです。チャレンジ期待しています。